

候補校申請書：初等教育プログラム（PYP）

2020年8月から適用

候補校申請書：初等教育プログラム（PYP）

2020年8月から適用



候補校申請書：初等教育プログラム (PYP)

2016年1月発行、2020年8月改訂の英語原本『Application for candidacy: Primary Years Programme』の日本語版
2025年4月発行

本資料の翻訳・刊行にあたり、文部科学省より多大なご支援をいただいたことに感謝いたします。

発行者 非営利教育財団 国際バカロレア機構 (International Baccalaureate Organization) Rue du Pré-de-la-Bichette 1, 1202 Genève, Switzerland
ウェブサイト: ibo.org

© International Baccalaureate Organization 2025

国際バカロレア機構（以下、「IB」という。）は、より良い、より平和な世界の実現を目指して、チャレンジに満ちた4つの質の高い教育プログラムを世界中の学校に提供しています。本資料は、そうしたプログラムを支援することを目的に作成されました。

IBは、資料の中で利用する多様な情報源について、情報の正確さと信憑性を確認します。ウィキペディアのようなコミュニティベースの知識源を使用する際には、特に留意します。IBは知的財産の原則を尊重し、利用する著作物すべてについて刊行前に著作権者を特定し、許諾を得るよう常に努力します。IBは、本資料で利用した著作物に対して許諾をいただいたことに感謝するとともに、誤記および遺漏がありました場合には、可能な限り早急に訂正いたします。

本資料に関するすべての権利はIBに帰属します。事前にIBから書面での承諾を得るか、「[Rules for use of IB Intellectual Property](#) (IBの知的財産に関する規則)」において明確に許可されている場合を除いて、形式と手段を問わず、本書のいかなる部分の複製、検索システムへの保存、および送信を禁じます。

IBの商品と刊行物は、[IB Store](#)でお求めください (email: sales@ibo.org)。有償か無償かに関わらず、第三者（チューターや教員養成の提供者、教育関連の出版社、カリキュラムマップや教師用デジタルプラットフォームの提供者や運営者など）がIBのエコシステムの中でIB資料を商用利用するためには、書面によるIBからのライセンス発行が必要です。ライセンスの申請はcopyright@ibo.orgまでご連絡ください。より詳細な情報はIBのウェブサイトibo.orgを参照してください。

IB の使命

国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くために貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のために、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。



IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するためのスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、それらを評価し、その経験を糧に成長しようと努力します。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実性に対し熟慮と強い意思をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探求します。挑戦と変化に、機知に富んだ方法で忍耐強く取り組みます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生活を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクールが価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

はじめに

この文書は、オンライン版の候補校申請書の内容を反映したものであり、あくまで参考として提供されるものです。候補校申請を行う場合、学校はオンライン版の申請書を記入しなければなりません。

2020年8月より、候補校申請書が簡素化され、候補校に課される要件に直接関連する質問のみが記載されるようになりました。申請書を提出する前に、すべての質問に回答する必要があります。申請をする学校には、プログラムに関与する教職員についての情報、指導時間の構成予定についての情報、およびプログラム実施の最初の5年間の予算の見通しについての情報を提出することが求められます。

学校のプログラム概要情報、候補校申請書の回答、および申請書の添付書類が、候補校申請について国際バカロレア（IB）が決定を下すうえで必要な情報となります。

認可を申請する準備ができた学校は、すべての基準、実践項目、要件に関する情報を提供し、質問に答えます。認可プロセスに備えて候補校申請書を見直したい学校のために、申請書のサンプルを [IBO.org](https://ibo.org) に掲載しています。

基準 A 理念：学校の教育上の信念と価値観が IB の理念を反映しているか

実践項目 A1 学校の掲げる使命と理念が、IB の使命と理念に一致すること。

1. あなたの学校の現在のミッションステートメントをご記入ください。
2. あなたの学校のミッションステートメントは「IB の使命」とどの程度一致していますか。
☐ 完全に一致
☐ 部分的に一致
☐ 要改訂
3. 学校のミッションステートメントと「IB の使命」をさらに一致させるために、学校としてどのようなプロセスを踏みましたか、または今後どのようなプロセスを踏む予定ですか。（500 語（日本語の場合は 1000 字））
4. あなたの学校の理念は IB の理念とどの程度一致していますか。
☐ 完全に一致
☐ 部分的に一致
☐ 要改訂
5. 学校の理念と IB の理念をさらに一致させるために、学校としてどのようなプロセスを踏みましたか、または今後どのようなプロセスを踏む予定ですか。（500 語（日本語の場合は 1000 字））

実践項目 A3 学校コミュニティ全体が、プログラムを理解し、責任をもって取り組むこと。

候補校申請書を提出する前の検討段階において、学校の実現可能性調査（feasibility study）を実施し、プログラムの成功のために IB が要求している方針や実践と、学校での現行の実践内容や方針を比較しておく必要があります。

1. 誰が実現可能性調査のプロセスを主導し、関与したかを記載してください。（学校法人に關係する教職員リストから選択）
2. 実現可能性調査に際し、他に関与したステークホルダーのグループがあれば記載してください。該当するものをすべて選んでください。
☐ 保護者
☐ 児童
☐ 運営組織
☐ コミュニティーの人々

- ☐ 地方自治体において権限をもつ教育機関
- ☐ 文部科学省
- ☐ その他（具体的に説明してください）：

3. あなたの学校が実施した実現可能性調査のプロセスを簡潔に述べてください。（500 語（日本語の場合は 1000 字））
4. 検討段階において、学校はまた、プログラムの内容をコミュニティに周知し、主要なステークホルダーのサポートを得るための取り組みを開始している必要があります。これまでに行った取り組みとその成果についての情報を、以下の表に記入してください。

グループ	取り組み	主要な成果
運営組織	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
地方自治体において権限をもつ教育機関	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
保護者	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
教育的リーダーシップチーム	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
教職員	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
その他（グループ名を記載）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）

5. コミュニティに情報を提供しプログラムのサポートを得るための学校の取り組みについて、追加情報があれば記入してください。（250 語（日本語の場合 500 字））

要件 A9.a. 学校は、全児童を対象とした包括的なプログラムとして初等教育プログラム（PYP）を実施すること。

PYP は全児童を対象とした包括的なプログラムです。3 歳から 12 歳までの全学年の全児童が PYP に参加する必要があります。IB は、「プログラム情報」のセクションに記載された情報も確認します。

1. 児童が入学するには、入学基準や選考基準を満たす必要がありますか。
 - ☐ はい
 - ☐ いいえ
 - a. 学校への入学を決定する受入方針や選考方針について詳しく述べてください。

基準 B 組織

基準 B1 リーダーシップと体制：学校のリーダーシップと管理体制が IB プログラムの実施を保証しているか

実践項目 B1.2 学校は、プログラムの実施をサポートする運営・指導体制を構築すること。

1. どのような運営組織または権限をもつ教育機関が学校運営を監督していますか。
 - ☐ 政府機関／地方自治体／文部科学省
 - ☐ 取締役会／評議員会／理事会
 - ☐ 教育委員会／地方自治体において権限をもつ教育機関
 - ☐ 教区／小教区／その他信仰に基づく運営組織
 - ☐ 所有者が定める運営組織
 - ☐ 会社／企業
 - ☐ スクールカウンセラー／諮問委員会
 - ☐ なし
 - ☐ その他（具体的に説明してください）：
2. 学校の運営組織または権限をもつ教育機関について簡潔に述べてください。（250 語（日本語の場合は 500 字））
 - a. 学校の運営組織または権限をもつ教育機関はどのように構成されていますか。
 - ☐ 公選
 - ☐ 選挙で選ばれた公務員または組織による任命
 - ☐ 所有者による任命
 - ☐ 所有者で構成される
 - ☐ 不明
 - ☐ その他（具体的に説明してください）：
 - b. 運営組織または権限をもつ教育機関が、あなたの学校に対して直接権限をもつ分野について簡潔に説明してください。（500 語（日本語の場合は 1000 字））
3. 教育的リーダーシップチームがどのように協力してプログラムの実施を指導していくかを詳しく述べてください。（500 語（日本語の場合は 1000 字））
4. 学校のプログラムスタッフの採用は誰が実施しますか。（500 語（日本語の場合は 1000 字））
5. 教職員の採用や確保において学校が直面している課題について、その課題に対処するための計画を含め、簡潔に述べてください。（500 語（日本語の場合は 1000 字））

実践項目 B1.3 校長とプログラムコーディネーターは、プログラムの理念に沿って教育面でのリーダーシップを発揮すること。

IB は、行動計画と学校組織図を確認することにより、この活動を評価します。

1. 教職員間に共通言語がない場合、教育的リーダーシップチームはどのようにして一貫したプログラムの実施と発展を確保しますか。（500 語（日本語の場合は 1000 字））
2. 提供された学校情報によると、学校での指導言語のうち少なくとも 1 つは、IB 公用語とは異なります。このような場合、教育的リーダーシップチームはどのようにして一貫したプログラムの実施と発展を確保しますか。（500 語（日本語の場合は 1000 字））

実践項目 B1.4 学校は、プログラムコーディネーターを任命し、業務内容、担当授業時間数軽減措置を定め、職責を全うするためのサポートとリソースを提供すること。

1. プログラムコーディネーターの 1 週間のスケジュールのうち、IB コーディネーターの職責を果たす時間をどのくらい確保しますか。（1 週間に費やす時間（％））
2. プログラムコーディネーターの時間配分

役割	1 週間に費やす時間（％）
プログラムの調整	1 週間に費やす時間（％）
その他（役割を記載）	1 週間に費やす時間（％）
その他（役割を記載）	1 週間に費やす時間（％）

基準 B2 リソースとサポート：学校のリソースとサポート体制が IB プログラムの実施を保証しているか

実践項目 B2.1 学校運営組織は、プログラムの実施と継続的発展のために予算を割りあてること。

IB は予算表を確認することにより、この実践を評価します。

実践項目 B2.2 学校は、プログラムの実施のために適格なスタッフを配置すること。

以下は、学校から提供された教員・管理スタッフ情報の要約です。「教職員」の項目で更新することができます。

1. 常勤教員数（学校概要の「教職員」の項目に記載された情報より算出）
2. 非常勤教員数（学校概要の「教職員」の項目に記載された情報より算出）
3. プログラムに関与するすべての教師は、指導スタッフに適用される地域・国の基準を満たしていますか。

- ☐ はい
☐ いいえ

要件 B2.3.a. 学校は、認定時およびプログラム評価時に、PYPに関連した IB 認定の教員研修についての要件を満たしていること。

1. 以下は、学校から提供された、教員・管理スタッフに関する IB 教職員研修情報の概要です。教員・管理スタッフに関する教職員研修情報を入力していない場合は、学校教職員の項目で更新してください。（学校概要の「教職員」の項目に記載された情報に基づきグラフを提供）
2. 学校の認可後、新しいプログラムのために採用する教職員向けの研修について、計画を簡潔に述べてください。（500 語（日本語の場合は 1000 字））

実践項目 B2.4 学校は、教師が協力して授業計画などを策定する協働設計や振り返りに専念できる時間を確保すること。

1. あなたの学校で実践中の協働設計について説明してください。（250 語（日本語の場合は 500 字））
2. 以下の表に、プログラムの実施をサポートする会議について説明してください（参加者、会議の種類、目標、頻度など）。

ミーティング名	出席者	頻度（ミーティングごとに1つ選択）	目標
	100 語（日本語の場合は 200 字）	☐ 毎日 ☐ 毎週 ☐ 隔週 ☐ 毎月 ☐ 半期ごと ☐ 四半期ごと ☐ 半年ごと ☐ 年 1 回	100 語（日本語の場合は 200 字）
	100 語（日本語の場合は 200 字）	☐ 毎日 ☐ 毎週 ☐ 隔週 ☐ 毎月 ☐ 半期ごと ☐ 四半期ごと ☐ 半年ごと ☐ 年 1 回	100 語（日本語の場合は 200 字）

実践項目 B2.5 校内およびオンラインの学習環境や、施設、リソース、専門機器類を、プログラムの実施に活用すること。

PYP の児童と教師が利用できる IT 設備とその場所を詳しく述べてください。

1. あなたの学校の現在の取り組みとして、学習におけるテクノロジー活用は、次の特徴のうちどれに当てはまりますか。

- ☐ 1人1台の児童用ノートパソコンまたはデバイス
- ☐ 学校中の教室に共有コンピューター コンピューターの台数____台
- ☐ コンピューター教室 コンピューターの台数____台
- ☐ 図書館内に児童用共有コンピューター コンピューターの台数____台
- ☐ 1人1台の教師用ノートパソコンまたはデバイス
- ☐ 教師用の共有コンピューター コンピューターの台数____台
- ☐ 学校中の教室にインタラクティブ・ホワイトボード
- ☐ その他（具体的に説明してください）： コンピューターの台数____台

2. 学校はインターネットに常時アクセス可能ですか。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

3. 学校は Wi-Fi 環境が整っていますか。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

4. 学校として児童や教職員に対し、Wi-Fi やインターネットへのアクセスをどのように制限しているか説明してください。（500 語（日本語の場合は 1000 字））

5. プログラムの実施をサポートするための学校施設やリソースに関する情報を提供または更新してください。

施設・リソース	施設・リソースの説明	この施設がプログラムの実施をどのようにサポートしているか	さらなる発展のための計画（もしあれば）
体育・陸上競技用施設	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
科学実験室	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）

美術用スタジオ	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
特化した施設	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
音楽用施設	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
芸術パフォーマンス・展示用スペース	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
舞台芸術用施設	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）
その他の施設・リソース	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）	100 語（日本語の場合は 200 字）

要件 B2.10.a. スケジュールや時間割は、カリキュラムにおける教科の枠をこえた探究学習および教科内での探究学習に深く取り組めるよう設定すること。

1. 指導時間数表を完成／更新してください。

年次／学年	
1 週間または 1 サイクルあたりの合計指導時間数	
1 週間または 1 サイクルあたりの長さ	
クラス担任の合計指導時間の割合	
専科教員の合計指導時間の割合	
その他の活動（集会や特別行事など）に費やされる合計指導時間の割合	

2. 探究の単位（UOI : unit of inquiry）を深く学習するための十分な時間を確保するために、学校は児童の週間スケジュールを調整する必要がありますか。

- ☐ はい
☐ いいえ